

第 645 回 11 月度大会レポート

場所：福井県 ウミック

平成 29 年 11 月 5 日(日)

天候：晴れ

作成者：西山

まだまだ快進撃が継続中であります。9 月の釣行より 12 枚釣り上げています西山です。偶然か幻か、いやいや腕が上達しているのか(それはないか)、..

今回の釣行は選抜大会が本来なら 10 月末に行われる予定だったが、台風の影響により 11/5 に変更となり月例会も合わせてその日に行う事となった。釣行当日、山川副会長の車で現地へ向い黒鯛釣具店で秋山副会長と合流し出発した。現地での情報ではサナギで釣れていると情報入手し大物釣るぞとサナギを購入し気合が入っていた。

今回、関チヌからの選抜代表は山川副会長と秋山副会長で役員代表として松元会長とピジターの私が参加した。(月例会 4 名) 出船時間になると大勢の人が参加していた。京都チヌ研の柴田氏、滝下氏、梅木氏(お兄さん)等見覚えの方が参加され、中には女性二人も参加していた。私は松元会長と同じ筏で行う事となった。筏に上がるとなんじゃこれと思うくらい潮が早い、左から右に波が立っており筏も揺れていて非常に釣りにくい状態だ。初めはモーニングで探るが水深も 20M あるだろうか柵に着いても流されていく錘 0.8 号だが止まらない、その中松元会長がサンバソウや小鯛等色々釣り上げている。私は潮に苦戦している中、松元会長が竿を曲げている、チヌの引きである。チヌの顔が見えた。私はアタリも判らずダメですわと愚痴を松元会長に投げかけていた。気持ちを切り替え、錘を付けダンゴが割れ、付けエサをトントンで流すイメージで何とか釣り上げたのが 40cm 近い 1 枚であるがその後が続かない、..、そこでふと山川副会長のアドバイスを思い出した、食いが渋い時は付けエサを複合エサにしたりする事により食ってくるからと、オキアミサナギ、オキアミコーンと付け合せたり最後にはオキアミサナギコーンのフルコースでダンゴに包んでじっとダンゴ割れを待つ、フツと穂先が上がり穂先に集中しているとコン、ギューンと竿が持って行かれ、すかさずフッキングすると乗った。この調子で 1 枚追加し計 3 枚となった。

取込みの仕方について魚を釣り上げる時、竿を余り立てずリールを巻いており竿を立ててから巻き取りしポンピングした方が取込みが楽と松元会長よりアドバイスあったので次回注意し取り込もうと思う、がしかし今後釣り上げる事あるのか?..、いやいやまだ快進撃は終わらない、..

匹数優勝：西山 39.5cm、36cm、32.5cm (3 枚)

長寸優勝：松元会長 32.5cm (計 1 枚)

長寸 2 位：山川副会長 31cm (1 枚)

秋山副会長 チャリコ、アジ、ガシラ等

参加者：松元会長、山川副会長、秋山副会長、西山